

●しゃらくかい

写楽回会

令和2年8月31日 56

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

葉月兼題「雲」 出題：昼寝覚

写真俳句



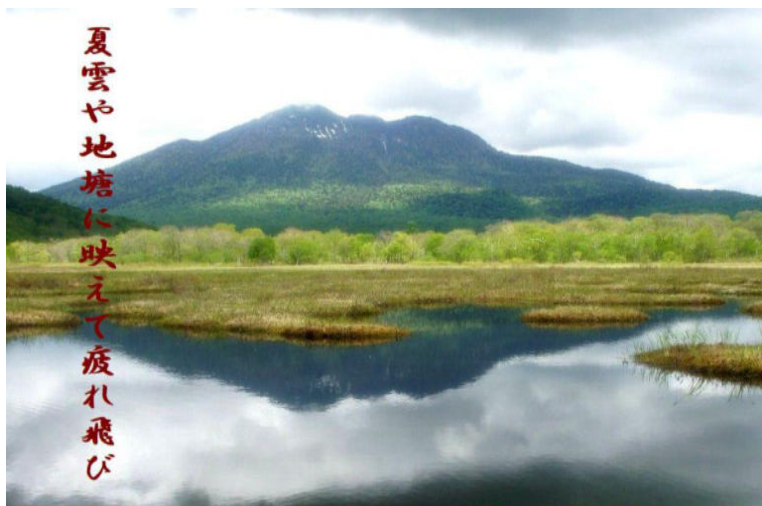
1 夫と行く道の高低夏の雲

高低は自分としては「たかひく」と詠んでいるのですが、「こうてい」でも構わない気がします。



2 長雨に漸くの夏あかね雲

今年の梅雨は長くて7月は雨の降らない日は1日しかありませんでした。8月に入って漸く梅雨明けしました。



3 夏雲や地塘 (ちとう) に映えて疲れ飛び

尾瀬の地塘に映り込んでいるのは燧ヶ岳 (ひうちがたけ) です。ここまで来るのも大変ですが、燧ヶ岳の登山路は急峻で大変でした。



4 紺碧に白を上塗る雲の峰

真っ青な空に真っ白な入道雲。感動を覚えます。



5 初夏の朝雲と庭木の語りかな

午前7時ごろでした。



6 ひつじ群れ眺める天の高きかな

季重ねにならないようにしました。



7 蝉の声空の雲までとどくまい



8 弘暁（ふつぎょう）の空に一筋秋の雲

グラナダに泊まった朝、散歩に行ったところ朝日に輝く一筋の雲が建物の間から見る事ができました。



9 秋立つと草の囁き雲の声

ありふれた句ですが、この写真は懐かしい。引っ越してもう5年、そしてまた秋か…という気持ちです。

俳句



撮影：昼寝覚

1 海と空どっちに浮かぶか白い雲

2 網で追うダボハゼ早し雲の峰

幼いころ、潮だまりで小さな魚を捉えようと、網で追いかけますが、すばしっこくてなかなか捕まえることはできませんでした。

3 茹で上げた素麺光る雲光る

家族に冷たい素麺をと、台所で大汗の母でした。

4 槍の先雲湧くところソーダ水

槍ヶ岳の頂上は中々見る事が出来ません。ソーダ水を飲みながら暫く眺めていました。

5 黒雲と閑（せめ）ぐスケボー半ズボン

雨の中で遊ぶ孫の写真を見て発想を飛ばしました。

6 雷神の目覚めの気配積乱雲

雷雲の発生には要注意。

7 雲間から月光のぞく月見草

8 店終い幾星霜のうろこ雲

コロナの影響で馴染みの店（豆腐店）が廃業。店主のこれまでの辛苦を称えるようにうろこ雲が広がる。

短歌

準坊

食べ頃を
鳥に突かれ落つトマト
採る楽しみを
一つ減らさる

丹精込めた庭のトマト。
鳥にも美味そうに見えたのかな。



北切雀

ゆったりと星空よぎる雲を見る明日は晴れるかスマホの画面

スマホのお天気情報画面を見るのが好きです。

川柳

準坊

Go Toと何処へ行くのか我が国は

コロナ・豪雨災害、今じゃないでしょ Go TO は。

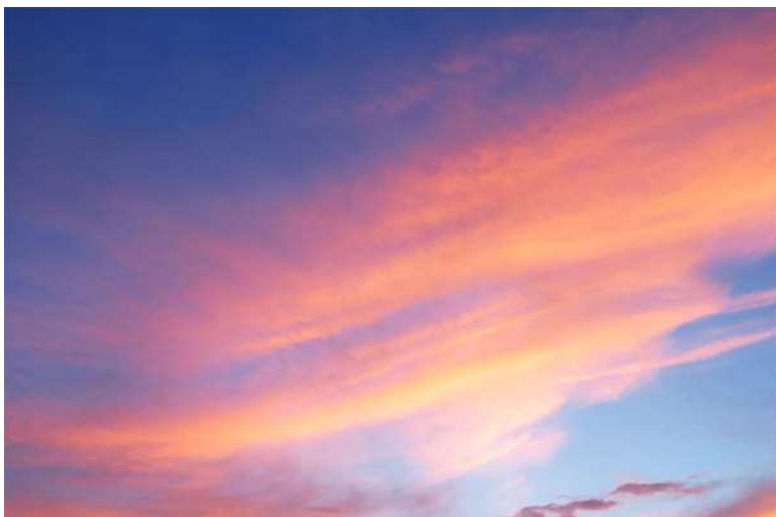
国会閉じ巣籠もり決め込む某総理

逃げないで説明とリーダーシップを取りなさい！

写真投稿

準坊

夕焼雲





・壺珊瑚



・屁糞葛（灸花）



・初雪葛

令和2年7月「百合の花」（出題：iSAMU）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 皆さんの写真を見て、こんなにも表情が違う百合があると驚き「百合」のイメージが変わりました。

* 様々な百合を楽しませてもらいました！

一席

ささやきに耳そばだてる百合の花 池福楼（8票）



<< ちっぽけな悩み事もその大きな耳(?)で
聞いてくれそうな気がする。>>

- * 比喻が面白い。上五を「風の音に・・・」はどうでしょう。
- * 写真のアングルと句がよく合っていますね。
- * 可愛い百合ですね。本当に昔の補聴器のような形なので、微笑を誘う句。
- * こんな百合の花たちに会えたら、そっと近づいて話したくなりますって。咲いてくれた感謝を伝えたい!! そんな気持ちが伝わるいい写真ですね。
- * 百合の花の形から耳を連想する素晴らしさ。
- * 吸い込むように悩み事を聞いてくれそうですね。暑さやコロナ禍などの不満も聞いてくれそうです。
- * 百合の花弁がまるで耳のように見えてきました。
- * 百合の花は悩みを聞いてくれる花なのかな。

佳作（令和2年7月号掲載順）



夏の朝 カサブランカの白眩し 昼寝覚

雨戸をあけると庭先に咲いた白ユリが、朝日を受けて輝いていました。

- * 季重なりが惜しい。上五はコメント通りの「雨戸開け・・・」では？
- * 石楠花かと思ってしまいました。朝、見事な花を見ることで始まる一日はきっといい日でしょう。
- * 目の覚めるような、百合の女王の風格ですね。



登山道孤高に咲く百合一輪 梵木

- * 思いがけない所で可憐な花に出会った驚きが伝わります。
- * ヤマユリは縄文の昔から日本人に寄り添ってきたと言う。まさに孤高という文字が似合う品と美を醸しています。
- * なかなか出会えないものですよねー、驚きと嬉しさで山歩きの疲れが一気に吹き飛びますね。

ひとかかえ蕾ばかりのゆりを買う 北切雀



- * 開花がたのしみですね。
- * 百合の切り花は、花瓶の中でも期待を裏切らず見事に咲いてくれますよね。こんなにたくさん、開くのが本当に楽しみになります。
- * 百合の花は蕾で買うのがお得だそう。咲く期間も長く楽しめ、開く過程も楽しめます。ひと抱えとは何とも贅沢な季節の楽しみ方ですね。
- * 百合の花はすぐに開いてしまうので蕾を買います。正解です。
- * 蕾の姿もいいですね。

カサブランカ逢瀬の無きも薄化粧 久芽

<< 百合の中でも、この色はなんとも言えない色気を感じます。人はマスクで化粧省いているのに、君はきれいに化粧しています。>>

- * いつも身だしなみをキチンとすべきとは思いますが、ロックダウンで人に会わないとなると、なし崩し。
- * う～んこの匂は上手い！カサブランカの甘い香り、ややうつむき気味に咲く美しさ。清楚で艶やかな女性に見立てた擬人化が見事にマッチ。百合に恋しそう…。
- * 花の色を麗人の薄化粧に見立てた感性、「歩く姿は百合の花」を思い出しました。



散歩道浜百合咲けり小さきしべ 千泉

<< 道端に咲く百合が可憐に見えました。>>

- * これは控えめな風情の百合。「浜百合」というのですか、可愛い。
- * 我が庭にも浜百合が毎年開花して楽しんでます。
- * 可憐な浜ゆりの小さなしべに注目している。良いにおいの源がこのしべから発しているように感じたことでしょう。



山百合を活けて花粉の一張羅 準坊

<< 山百合の花粉は真っ赤で白い服には要注意。>>

- * そうなんです、存在感あふれる写真ですが花粉が問題。
- * 百合の花粉が服に着くと確かに取りづらい。ちょっとユーモラスな句ですね。
- * 昔花屋さんでバイトしていて、百合の花弁を汚さぬよう開いた花の蕊(しべ)をカットする作業もありました。



今頃はささ百合の花きつと咲き iSAMU

<< 東京に来る迄百合の花はこの「笹百合」と思っていました。この百合は関西以南に自生し、関東以北には無いことを知りました。この時期、この上品で気品に満ちた花が咲くのがとっても楽しみでした。Lillum Japonicum として日本の百合の代表として知られています。生まれ故郷は中国山地の限界集落となって、生家は無人となっていますが恐らく写真のようなささ百合が咲いている様を想っています。なお本来は「笹百合」が正しいのですが、笹のイメージが悪すぎるので作品では「ささ百合」としました。漢字一つで自分の受ける感じが違うのでは、と思った訳です。一般にはササユリなどとカタカナで書く人もいますが、この日本由来のこの花をカタカナ



などで書く必要はありません！1820年頃に日本に来たシーボルトによって日本の百合が西欧で紹介され、ロンドンではその球根が高値で取引されたとの記録があるそうです。日本特産の笹百合は種子でも増やす事が出来ますが、栽培はなかなか難しいそうです。「万葉集」に、「筑波嶺のさ百合の花の夜床にも 愛しけ妹そ昼も愛しげ」と歌われているのは多分「笹百合」だと勝手に思っています。>>

- * 故郷に想いをはせる気持ちがまっすぐ伝わってきます。
- * 作者の気持ちが句と文章にしっかり有り郷愁を感じました。
- * 笹百合の蘊蓄をこと細やかに披露されて、その博識ぶりは素晴らしい。勉強になります。

俳句 投票数：27



撮影：iSAMU

一席

大輪を掲げて百合の崩れざる 北切雀（6票）

<< びっくりするほど大きな花が咲きましたが、それに比して支える茎がいかにも細く驚きました。>>

- * 本当に大きな花をつけても茎は細く頑張ってますね。
- * 大きな花びらが落ちる時いつも同じ様に感じます。
- * 華やかな大輪を茎や葉が裏方になって支えている。
- * わかる～！ 私もこの夏、ご近所さんからお庭の百合をいただきましたが、こうべが重く垂れて活けるのが難しかったです。
- * 同感です。

佳作（令和2年7月号掲載順）

百合揺れて香り聖花の誇りかな 千泉

<< 百合は聖花だと聞いた事があります。>>

- * 特に白百合はちょっと敬虔な気持ちにさせられます。
- * 花言葉「純潔」のように結婚の聖歌ですね。
- * 百合の香りは広い範囲に広がるので、きっと空気を清めてくれる効果があるんでしょう。
- * 百合の芳香は気品漂う香りですね。

鹿の子百合 咲きて狭庭も華やげり 昼寝覚

- * 今更ですが、本当にいろいろな百合に驚きました。鹿の子百合は名前からしても一番可愛い百合でしょう。
- * 鹿の子絞りの模様は可愛らしく華やか。「狭庭」と言う謙遜語は俳句には使いづらいと言われていますが、この句では素直に表現しているように思う。
- * 沢山の色鮮やかな百合が、元気いっぱい咲いている様子が目に浮かびます。
- * オレンジ色の クリクリンの鹿の子百合 華やかさありますね。

LPのジャズ 二週目の百合の花 一枝

<< 楚々とした百合ではなく、ネトっとまとわりつくような百合の感じが出せないかと試行錯誤しました。>>

- * LPとは懐かしい。それもジャズ。それを百合と破調で合わせた事で作者の狙いは成功していると思う。
- * 百合は水揚げが良く切り花も2週間楽しめます。そんな盛りを過ぎたいわば熟した花の艶をジャズに、それもLP盤の音質に例えたのはとても面白い発想。「LPのジャズ」を後ろに持って行くとさらに良くなるのでは？

白百合を供えて母の顔やさし 池福楼

<< 園芸が大好きだった母。遺影の表情もうれしそう。>>

- * 我が家も先日の墓参りに百合の花を供えて来ました。
- * 百合を供える人も百合の白に慰められている。
- * 私の母も百合の花が好きでした。

袖口に葬送の日の百合花粉 久芽

<< 礼服を片付けていると袖口に花粉が付いていました。>>

- * 花粉で袖口が汚れただけの事なのに、寂しさ、悲しさが伝わります。
- * いろいろな思いが感じられます。
- * 棺に花を入れる悲しみ。帰ってから袖口を見て故人の思い出が更に浮かんでくる。
- * 3月に逝った父の新盆に供えたゴリの花を思い出しました。
- * 厳粛なお葬式の感じがよく出ています。

魔王コロナ都民千万闘え百合（子） 梵木

- * 恐ろしい勢いで陽性者が増えています。政府はいい加減、都としての方針に期待。
- * コロナから一千万都民を守る知事へのエール。小池さんに色々な評価があるけどその存在感は大きい。
- * 本当に歴史に残る危機です。都知事として自身の報酬もカットして頑張っている百合子さん フレー フレー。

雨募りうなだれ耐うるすかし百合 準坊

<< 激しくなる雨に必死に耐えている咲いたばかりのすかし百合。>>

- * 咲いたとたんに雨ですか、痛々しい。
- * すかし百合は普通上向きに咲く花。作者はうなだれて耐える姿に、長く美しさを全うして欲しいと励ましている。
- * すかし百合は雨が降っても倒れないで結構頑張ってます。

写真いいね！



登山道孤高に咲く百合一輪

梵木

- * 背景に花びらの色の水玉を散らしすっきりと咲く百合の美しさを夢のように捉えた写真（北切雀）。

北切雀

満ちあふる香に押され開くゆり萌黄（もえぎ）のつぼみ紅（くれない）となり

<< 百合は開く時の香が一番強いと感ずます。白だと思っていたら濃いピンクの花が咲きました。>>

* 開花迄の時間経過が色の違いで表した下句がリズム感も良く素晴らしいですね。

準坊

バラバラになりて
散り落つ百合の花
お疲れ様と風の囁く<< 優雅に咲いていた百合も
いつの間にか散り寂しさあり。>>

* 花の命は短くて…の短詩のように美しい期間は長くないと、この花を見て感慨深く思う作者と同じ気分を味わう。

* 花も散りかたは様々、風にねぎらわれて本望でしょうね。

写真投稿

ダブル レインボー

千泉

<< イギリスの夏は午後9時でもまだ明るいのですが、この時間にこんなにはっきりした虹を見たのは初めてです。>>



- * いい写真が撮れましたね。「夕虹」という素敵な季語を思い出しました。自分も飛び跳ねたくなる写真です。
- * 画像をレタッチ加工したような摩訶不思議な、こんな虹の写真は初めて見ました。遭遇してさらに写真をゲットした千泉さん一家にはきっと良い事が起きるでしょう。
- * ダブルレインボーすごい!!! 貴重な写真いいなあ!!!

- * 令和2年長月9月は一枝さんから「落書き」、神無月10月は読者CKさんから「月」と出ています。
- * 令和2年葉月8月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 令和2年8月号への投票、9月号作品への投句、投稿の締め切りはともに9月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

筆責：北切雀 校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

写楽句会 : <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>四季の森空間 : <https://isamusouma.web.fc2.com/>